
◎町長行政報告

○議長（稲葉昭宏君） 日程第4、町長の行政報告を行います。

町長から報告の申し出がありますので、これを許します。

（町長 齋藤文彦君 登壇）

○町長（齋藤文彦君） 平成28年松崎町議会第4回定例会の開会にあたり、謹んで行政報告を申し上げます。

平成28年も残すところ僅かとなり何かとあわただしい頃となってまいりました。今年を振り返って見ますと、年度当初早々の4月に熊本地震が発生し、大きな被害をもたらしました。熊本地方は今まで大きな地震の発生がなく、住民ばかりでなく市町も含めて地震に対する備えや意識が低かったことが被害を拡大させ、その後の復旧活動にも影響したと言われています。

静岡県では東海地震説が叫ばれ、その対策が早くから進められたことから防災計画や観測網の整備が進み、避難訓練も繰り返し行われてきましたので、対策や意識は高い水準にあると思います。

しかしながら、それを運用する実施マニュアルの習熟度は十分とは言えず、当町も例外ではありません。来年2月には「本部運営訓練」が計画され、実際の場面を想定した行動を確認する訓練も行いますが、常に緊張し、油断することなく、対策や体制を充実させていかなければならないと感じています。

これからも、住民が安心して暮らせるまちづくりを実践してまいりますので、今後とも行政諸般につきまして議員各位のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、9月以降の町政の動向について概要を2点ほど報告いたします。

1つ目は、「日本で最も美しい村」連合フェスティバルについてであります。

10月6日から8日にかけて、「日本で最も美しい村」連合フェスティバルが開催され、当日は議員の皆様にもご参加いただき、本当にありがとうございました。フェスティバルには全国57の町村・地域から約300人が来町し、交流を深めるとともに取り組みや課題について学習会を開催しました。

その中で、地域の文化・資源を生かし、そこに住む人々が地域づくりに関わっていくことが重要であり、産・官・学の新しいコーディネートを創っていこうとの提言がなされました。このことはまさに、当町が進めている施策に合致していることから、背中を押された感じがしました。

これからも、住民一人ひとりがまちづくりに関わり、暮らしやすく賑わいのある町となるよう、全力で取り組んでまいります。

2つ目は、津波への対応についてであります。

駿河トラフ・南海トラフ巨大地震で発生が予想されている津波に対しては、昨年から地域との協働により対策を検討していくことになり、松崎、岩地、石部、雲見の4地区に地区協議会を置いて、地域の皆様と共に検討を行ってきました。

協議会では、将来的なまちづくりも視野に入れた意見も出されるなど、参加者の皆様も積極的に関わり、方向性もまとまりつつあります。松崎海岸では整備高のモデルを仮設で示すなど、より具体的に検討が進められています。年度内には方向性がお示しできるようにしたいと考えています。

本日は、「松崎町第5次総合計画について」他3件についてご報告いたします。詳細は担当課長より申し上げます。

○企画観光課長（山本 公君） それでは、企画観光課から2件の行政報告をさせていただきますと思います。

まず初めに、松崎町第5次総合計画実施計画についてでございます。資料ナンバー1をご覧くださいと思います。

総合計画の実施計画につきましては、平成28年11月28日開催の議会全員協議会におきまして、本資料に基づきましてご説明をさせていただいておりますので、概要のみご説明をさせていただきますと思います。本計画につきましては、平成25年度から10年間にわたる計画でございます。本実施計画につきましては、平成29年度から平成31年度までの3ヵ年の実施計画を見直したものでございます。

表紙にその結果が記載してございますが、新規事業2件、事業費変更増が21件、事業費変更減が11件、変更なしが42件の合計76件という結果になっています。

3か年の総事業費につきましては、5ページに記載がございましたが、総事業費で43億2872万7000円、うち一般会計分39億2452万7000円、水道温泉の特別会計分で4億420万円となっております。

個別の事業につきましては、6ページ以降10ページまでに記載がございますので、またご覧くださいと思いますが、これらを基にいたしまして、踏まえまして新年度の予算が策定されていくということになりますので、またご理解をいただきたいと考えております。

以上、1番目の松崎町第5次総合計画の実施計画についてでございました。

引き続き、町営観光施設の入館状況につきまして資料ナンバー 2 に基づきましてご説明させていただきます。

はじめに、1 ページをお願いしたいと思います。「伊豆まつぎ荘」の利用の状況が記載してございます。

右側の 10 月までの累計でご説明をさせていただきたいと思います。宿泊人員につきましては、1127 人増加をいたしまして 1 万 3848 人。入浴、休憩利用を加えました人員は 445 人増の 1 万 9973 人となっております。

収益につきましては、中ほどに記載がございしますが、前年度より 1209 万 5000 円増加をいたしまして 1 億 8163 万 2000 円となっております。公債費、減価償却費を按分して加えた費用につきましては、前年度より 264 万 9000 円増加をいたしまして 1 億 7626 万 5000 円でございます。

利益につきましては、1 番下段に記載してございますが、マイナスの 536 万 7000 円でございます。前年度より 944 万 6000 円の改善ということになっております。

続きまして、2 ページをお願いしたいと思います。町営の観光施設入館状況及び収支の状況が記載されております。

伊豆の長八美術館につきましては、1767 人利用人員が減となっております 1 万 5589 人でございます。収支差額でマイナスの 395 万 7000 円でございますが、前年度より 188 万 7000 円改善となっております。これは、昨年度途中まで正規職員がいたようなこと、あるいは生誕 200 年祭ということの中でビジュアルブックを昨年度は製作したこと。それらが今年度ないことによって支出が減となったものでございます。

右側に重要文化財岩科学校がございします。重要文化財岩科学校につきましては、1621 人の減の 9481 人でございます。収支差額はマイナスの 368 万 8000 円で前年度より 113 万 2000 円悪化をいたしております。

3 ページをご覧ください。明治商家中瀬邸でございます。明治商家中瀬邸につきましては、1417 人減の 7160 人。収支差額につきましては、前年より 5 万 4000 円悪化いたしましてマイナスの 300 万 1000 円でございます。

民芸館につきましては、1417 人減の 3968 人、収支差額がマイナスの 323 万 5000 円で 25 万円の悪化ということになっております。

最後に、4 ページをお願いしたいと思います。道の駅花の三聖苑につきましては、昨年度はかじかの湯の休館があったことに伴いまして、人数が減となっておりますが、今年度はそれらもないということの中で、1 万 2044 増の 2 万 9148 人。収支差額はマイナスの 278 万 6000 円

でございますが、前年度より 235 万 9000 円改善いたしております。

10 月までの累計におきましては、伊豆まつぎき荘、伊豆の長八美術館、道の駅花の三聖苑で収支が改善いたしております。特に伊豆まつぎき荘におきましては、経営改善計画に基づきまして実施している取り組みの結果、あるいは先ほど町長の方から行政報告の中でありました美しい村連合のフェスティバル並びに日本ジオパーク全国大会による利用等もありまして、宿泊利用者、収益等が好調に推移して改善に向かっているところでございます。今後も観光誘客に観光関係団体とともに連携して取り組んでまいるところでございますので、より一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、町営観光施設の入館状況につきましてのご報告とさせていただきますと思います。

以上、企画観光課から 2 件の報告をさせていただきました。

○生活環境課長（高橋良延君） それでは、生活環境課から行政報告の 3 番目、公営企業会計平成 28 年 10 月末の経営状況についてご報告をさせていただきます。資料ナンバー 3 をお願いいたします。

はじめに水道事業会計の方でございます。本年度 10 月末収益が、営業収益・営業外収益を合わせまして 8255 万 1000 円、前年対比 77 万 7000 円、0.9 パーセントの減となっております。理由といたしましては、10 月末現在の有収水量につきまして 53 万 8448 m³で、前年対比 5993 m³の減となっており、特に一般用の減少が大きく、収益減となりました。

また、予定収益を入れた事業収益の合計は 8967 万 2000 円、前年対比 77 万 8000 円、0.9 パーセントの減となっております。

一方、費用の方でございますが、営業費用・営業外費用に減価償却費、支払利息を加えました事業費用合計は 7532 万円、前年対比 233 万 7000 円、3 パーセントの減となっております。

その結果、差引利益につきましては 1435 万 2000 円、前年対比 155 万 9000 円、12.2 パーセントの増となっているところでございます。

続きまして、温泉事業会計でございます。はじめに、収益の方です。営業収益・営業外収益を合わせまして 3497 万 6000 円、前年対比 21 万 8000 円の減、0.6 パーセントの減となっております。自家用の開栓が 5 件減少したことなどにより若干の減となりました。

予定収益を加えました事業収益の合計は 3632 万 5000 円、前年対比 21 万 8000 円の減、0.6 パーセントの減となっております。

一方、費用の方でございます。営業費用・営業外費用に減価償却費を加えました事業費合計は 2734 万 3000 円、前年対比 113 万 8000 円、4 パーセントの減となっております。

その結果、差引利益につきましては 898 万 2000 円、前年対比 92 万円、11.4 パーセントの増となっているところでございます。

両会計とも利益増となっておりますけれども、水道事業においては、使用水量の減少傾向が続いているところでございます。

また、温泉事業につきましては、配湯所のインバータ設備導入によりまして動力費の前年対比が約 42 パーセント減となっております、費用の軽減に大きく影響をしているところでございます。

以上、10 月末公営企業会計の状況についてのご報告を終了いたします。

○教育委員会事務局長（石田正志君） それでは、4 番目の平成 28 年度松崎町立幼稚園建設工事の進捗状況について簡単ではございますが、ご報告させていただきます。

新幼稚園舎の建設につきましては、7 月 7 日の契約締結の議決をいただきまして、その後準備期間を入れまして、実質工事に入ったのが 8 月からになります。8 月、9 月につきましては、工事としては基礎工事や土台等の工事が施工されておまして、10 月に入りまして躯体となります集成材を搬入し、木造の躯体工事等に入っております。

お配りしました資料は 11 月現在の工程表等の状況でございますが、右にあります写真のように、現在、11 月につきましては屋根工事にも入っております。さらに内部の工事にも入っているような状況でございます。

さらに、右下に進捗状況という表が小さいですがありますが、11 月末の予定では 63.7 パーセントというような予定となっておりますが、11 月は雨が多かった影響ということで、実績は 61 パーセントという状況でございます。その右に来月の予定として 78.4 パーセントとなっておりますが、当然この遅れのしわ寄せは 12 月にいきますので、来月の進捗率はだいたい 71 パーセントになるのではないかとというような現場からの報告でした。ただ、この遅れにつきましては、1 月中にほぼ解消できるだろうという現場責任者からの説明を受けておりますので、予定どおり建物は完成できる見込みと思われまます。

以上、簡単でございますが、ご報告にさせていただきます。

○議長（稲葉昭宏君） 以上で町長の行政報告を終わります。

暫時休憩します。

（午前 9 時 20 分）
